

- 1 All the world's a stage. And all the men and women merely players: They have their exits and their entrances; And one man in his time plays many parts, His acts being seven ages.
(*As You Like It*)

「この世界はすべてこれ一つの舞台、人間は男女を問わずすべて役者すぎぬ、それぞれ舞台に登場してはまた退場していく、そしてそのあいだに一人一人がさまざまな役を演じる年齢によって七幕に分かれているのだ。」(「お気に召すまま」)

- 2 To be, or not to be, that is the question.(*Hamlet*)

「このままでいいのか、いけないのか、それが問題だ。」(「ハムレット」)

- 3 When we are born, we cry that we are come To this great stage of fools.(*King Lear*)

「人間、生まれてくるとき泣くのはな、この阿呆どもの舞台に引き出されたのが悲しいからだ。」(「リア王」)

- 4 Life's but a walking shadow, a poor player.(*Macbeth*)

「人生は歩きまわる影法師、あわれな役者だ。」(「マクベス」)

- 5 It (jealousy) is the green-eyed monster which doth mock
The meat it feeds on. (*Othello*)

「こいつ（嫉妬）は緑色の目をした怪物で、人の心を餌食とし
それをもてあそぶのです。」（「オセロー」）

- 6 Et tu, Brute! = And you, Brutus! (*Julius Caesar*)

「おまえもか、ブルータス！」（「ジュリアス・シーザー」）

- 7 The quality of mercy is not strain'd, It droppeth as the gentle
Rain from heaven Upon the place beneath. (*The Merchant of
Venice*)

「慈悲は義務によって強制されるものではない、天より降りき
たっておのずから大地をうるおす恵みの雨のようなものだ。

（「ヴェニス商人」）

シェイクスピアの戯曲とその時代

【創作年(推定)はAnnuals of English Drama 975~1700の第3版(1989年)に拠る】

●=シェイクスピア関連

◎=一般事項

- 1564 ●ウィリアム・シェイクスピア、イングランド中部の田舎町、ストラトフォード・アポン・エイヴォンに生まれる。誕生日は4月23日だといわれている(受洗日は4月26日)
- 1576 ◎ロンドン郊外に英国最初の公衆劇場シアター一座開場
- 1582 ●18歳で8歳年上のアンと結婚、翌年長女、85年に双子の兄妹誕生
- 1585 ◎日本では秀吉が関白となる
- 1586 ●地方巡業で訪れたロンドンの劇団の一座に加わり、ロンドンに出たと推測される
- 1588 ◎英国艦隊、スペインの無敵艦隊を破る
- 1590 『ヘンリー六世・第一部』『同・第二部』
- 1591 『ヘンリー六世・第三部』
- 1592 『リチャード三世』
『間違いの喜劇』
『じゃじゃ馬ならし』
- 1593 『ヴェローナの二紳士』
- 1594 『タイタス・アンドロニカス』
●リチャード・パーベッジにより結成された宮内大臣一座に役者兼座付き作家で参加
- 1595 『恋の骨折損』
『リチャード二世』
- 1596 『ヴェニスの商人』
『ロミオとジュリエット』
『夏の夜の夢』
『ジョン王』
- 1597 『ヘンリー四世・第一部』『同・第二部』
『ウィンザーの陽気な女房たち』
- 1598 『から騒ぎ』
- 1599 『ジュリアス・シーザー』
『ヘンリー五世』
『お気に召すまま』
●シアター一座を解体し、その木材でテムズ河南岸にグローブ座が建設される
- 1601 『ハムレット』
『十二夜』
- 1602 『トロイラスとクレシダ』
- 1603 『終わりよければすべてよし』
◎エリザベス女王死去、スコットランド王がジェームズ一世として即位
●国王の特許状により宮内大臣一座は国王一座になる



- 1604 『尺には尺を』
『オセロー』
- 1605 『リア王』
- 1606 『マクベス』
- 1607 『アントニーとクレオパトラ』
『アテネのタイモン』
- 1608 『コリオレーナス』
『ペリクリース』
- 1609 『シンペリン』
- 1610 『冬物語』
●ストラトフォード・アポン・エイヴォンに隠退
- 1611 『テンペスト』
- 1613 『ヘンリー八世』
◎伊達政宗、支倉常長をローマとスペインに派遣
- 1616 ●3月25日、遺書に署名、4月23日、死去。享年52歳
◎同じ年、日本では徳川家康、スペインではセルバンテスが死去
- 1623 ●妻アン死去(享年67歳)
●第1・2折版一巻本全集

(ファースト・フォリオ)
出版、値段1ポンド、
発行1,000部

※この37作品のほか、
『二人の貴公子』(1613年作)、
『エドワード三世』(1594-5
年作)もシェイクスピアの作
に加える動きもある。

